

仙台市図書館 2014. 3

本の 道の案内

～ 図書館レファレンス事例より ～

～はじめに～

図書館には毎日さまざまな質問が寄せられます。

仙台市図書館では、『本の道案内～図書館レファレンス事例より～』と題して、図書館に寄せられた質問の一部を小冊子にしました。これで3冊目になります。

今回は、一般的な質問に加え、子どもからの質問や郷土資料・地域資料に関する質問など、仙台市内にある7つの図書館に寄せられた幅広い質問の中から選んで作成しました。

日常のくらしの中でふと疑問に思ったこと、テーマを決めて調べるときにどんな資料を参考にすれば良いのか、そういうときには図書館員がお手伝いします。本だけでなく、データベース等インターネット情報からも探すことができますので、ぜひ、図書館のレファレンス（調べもの相談）カウンターでご相談ください。



目 次

質問内容

ページ

アメリカのオバマ大統領の両親について知りたい。	1
なぜ日本の学校は4月入学なのか。	2
韓国の現在の経済力を知りたい。	3
ウイスキー製造元のニッカという名称がどこからきたのか知りたい。	4
【巳】と【巳】と【己】の字について	5
昭和30年代の肺結核の「三者併用の薬」とは何か。	6
「八色姓」にあるという、装束の色と身分や位との関係について	7
いろいろなストレスをランキングした表を見たい。	8
昭和12年に世界一周を成し遂げた「神風号」について	9
できるだけ簡単に扱える非常食にはどんなものがあるのか。	10
お墓の納骨スペース「カロート」とは何語か？	11
「ぼんきり」という言葉の意味が知りたい。	12
「森のキツツキ」など手遊びの歌詞が載っている本は？	13
浮世絵で、東京スカイツリーのようなものが描かれているものは？	14
沙羅双樹の木を写真や絵で確認したい。	15
天候と病気の関係について教えられるような本を紹介してほしい。	16
昭和40年頃の平均的な退職金の額は？	17
玄米に含まれる「フィチン酸」について調べたい。	18
常長が外国に行き白石和紙で鼻をかんだ…というエピソードは？	19

カタツムリの飼い方について	20
ペンギンの卵を原寸大の写真で見たい。	21
ノートのまとめ方がわかる本は？	22
秋の七草の種類やいわれなどを知りたい。	23
ビスケットとクッキーの違いはあるの？	24
仙台の冬を彩る「光のページェント」はどんな意味があるのか。	25
仙山線の歴史について知りたい。	26
仙台藩の寺格とはどういうものなのか。	27
佐々木喜善が宿泊した「芭蕉館」はどこにあるか。	28
政宗が砂金村や秋保村で川猟をしていたという記述を探している。	29
郡山合戦の際の郡山城とは？	30
今の若林区大和町は、昔どういう所だったのか？	31
太白区の三神峯公園にある石碑について知りたい。	32
民謡『新さんさ時雨』の譜面が載っている資料を探している。	33
仙台駅東口にあった島崎藤村の文学碑には何と書いてあったのか。	34
仙台市原町にある清水沼について知りたい。	35

Q.

アメリカのオバマ大統領の両親は存命か、存命なら現在どこにいるのかを知りたい。

A.

アメリカ第 44 代大統領で、2009 年ノーベル平和賞を受賞したバラク・フセイン・オバマ（オバマ大統領）は 1961 年ハワイ州ホノルルに生まれた。

父の名前はバラク・オバマ・シニアで、ケニア出身、1982 年ケニアで事故死している。母はスタンリー・アン・ダンナム（スタンリー・アン・ダナムと記載している資料もある）、1995 年 52 歳で病死した。

回答プロセス

『現代外国人名録 2012』でオバマ大統領を調べると、両親は離婚し父親は 1982 年にケニアで事故死していることがわかったが、母親の消息に関する記述はなかった。

伝記の書架でオバマ大統領に関する資料を探す。『評伝バラク・オバマ』p45、p50、『オバマの真実』p22、『オバマ ホワイトハウスへの道』p46、『オバマ YES WE CAN!』p42 に記述している内容から、両親がすでに亡くなっていることがわかった。

参考資料

『現代外国人名録 2012』 日外アソシエーツ／編 日外アソシエーツ 2012 年

『評伝バラク・オバマ』 渡辺将人／著 集英社 2009 年

『オバマの真実』 ナフタリ・ベンデビッド／編 朝日新聞出版 2009 年

『オバマ ホワイトハウスへの道』 阿部直子[ほか]／訳 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2009 年

『オバマ YES WE CAN!』 ロバータ・エドワーズ／著 岩崎書店 2009 年



なぜ日本の学校は4月入学なのか。



『学校ことはじめ事典』 p32 - p33 によると、世界の多くの国は9月から始まる。日本も近代化の始まった明治前半期は9月学年始期が多かったが、1886年（明治19年）高等師範学校（のちの東京教育大学の前身）の学年始期が4月となり、1888年（明治21年）には府県立尋常師範学校が文部省の指示によりこれに従ったとある。

4月から始まる理由には次の3点が挙げられている。

- ① 陸軍より先に人材を獲得するため。（徴兵令の改正で、軍への届出基準日が4月1日になった。）
- ② 国や県の会計年度が1886年（明治19年）に4月から翌年3月までに改正され、徴兵事務と学校（学費や食費）もそれにならうことになったため。
- ③ 学年末試験の時期が、むし暑い6月では学生の健康上よくないため。

回答プロセス

日本の学校の始期については、生活するうえでルールとなる様々な法令が載っている『現行日本法規』を見ると、第36巻の学校教育法施行規則第59条（p195）に「小学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。」と定められており、義務教育については準用されるとある。参考までに仙台市では、市の法令集である『仙台市例規』（2）の仙台市立学校の管理運営に関する規則第3条（p5861）に同じ記述がある。

東京大学が9月入学に移行する案を打ち出した2012年1月の新聞記事に『学校ことはじめ事典』が紹介されており、確認したところ上記と同様の回答が得られた。

参考資料

- 『現行日本法規 36』 法務大臣官房司法法制調査部／編 ぎょうせい 1981年～
『学校ことはじめ事典』 佐藤秀夫／著 小学館 1987年
『河北新報』 2012年1月20日付け河北春秋の記事



韓国の現在の経済力（輸出、GDPランキングなど）を知りたい。
有名なサムスンやヒュンダイといった企業の世界での位置づけについても知りたい。



『世界統計白書 2012 年版』に、次のような記述があった。

- ・輸出額の推移・・・韓国 7 位 日本 4 位 (p132)
- ・各国の国内総生産 (GDP)・・・韓国 15 位 日本 3 位 (p46)
- ・世界の大規模企業・・・サムスン電子 22 位 ヒュンダイ 55 位 (p43-p44)
- ・主要製造企業 (情報通信機器)・・・Samsung Electronics 2 位 LG 7 位 (p207)
(半導体)・・・Samsung Electronics 2 位 Hynix Semiconductor
7 位 (p208) (以上データは 2010 年のもの)

その他、雑誌『週刊東洋経済 2012 年 12 月 15 日号』に特集記事「韓国の強さは本物か」があり、参考になりそうだったので提供した。

回答プロセス

世界各国の統計が載っているものを参考図書のコーナーから選んで調べた。

『世界国勢図会』『世界の統計』『世界統計白書』を見たが、一番わかりやすく、かつ世界の企業ランキングが載っていたのは『世界統計白書』であった。

なるべく新しい情報が知りたいとのことだったので、所蔵している経済雑誌を検索すると、上記雑誌の特集記事を見つけた。

参考資料

『世界統計白書 2012 年版』 木本書店編集部／編 木本書店 2012 年

『週刊東洋経済 2012 年 12 月 15 日号』 東洋経済新聞社

『世界国勢図会 2012 13 世界がわかるデータブック』 矢野恒太記念会／編
矢野恒太記念会 2012 年

『世界の統計 2012』 総務省統計局／編 日本統計協会 2012 年

Q.

以前、広瀬図書館で「竹鶴^{たけつる}リタとウイスキー」の講演会が行われた。
このウイスキー製造元のニッカという名称がどこからきたのか知りたい。

A.

講演会名の中にある竹鶴リタは、ニッカウキスキー創業者である竹鶴政孝の妻である。
『ジャパニーズウイスキー』 p56 - p57 に「まずは余市で収穫されるリンゴをジュースにして売り出すところから始めている。大日本果汁という会社の名前の由来はここにある。余市は、会津藩土の入植地で、日本で最初にリンゴの栽培を始めた地域だった。
(中略)「大日本果汁」の「日」と「果」を縮めて、「ニッカウキスキー」という名称になった。(中略) 52年、大日本果汁は「ニッカウキスキー」と社名を変更する。」という記述がある。また『ヒゲのウキスキー誕生す』 p170 - p171 には、「初めて世に送り出す製品を、竹鶴は「大日本果汁」を略して「日果」、すなわち〈ニッカウキスキー〉と命名した。ラベル文字は〈Rare Old NIKKA WHISKY〉。」との記述があった。

回答プロセス

洋酒関連の図書を中心に国産ウイスキーとその歴史に関して調査し、記述があった資料を紹介した。

企業・経営関連の書架には、社名の由来に関する本があり、「ニッカウキスキー」に関する記述もあった。

参考資料

『ジャパニーズウイスキー』 土屋守／著 新潮社 2010年

『ヒゲのウキスキー誕生す』 川又一英／著 新潮社 1982年

『誰かに教えたい社名の由来』 本間之英／著 講談社 2002年

■ニッカウキスキーホームページ 2013年10月15日アクセス

<http://www.nikka.com/index.html>



【巳】と【巳】と【己】の字は似ている。これらについて、「みはうえに、すべはなかばに、おのれはしたに」ということを聞いたが故事にあるのか。また、巳の読み方はほかにもあるのか、その意味も知りたい。



巳の読み方は「イ」「すで(に)」「のみ」「はなは(だ)」「や(む)」「や(める)」。やめる・おわる・しりぞく等の意味がある。

「みはうえに...」は故事にはなく、漢字を覚えるための歌のようである。

また、巳の読みは「シ」「み」。意味は、十二支の第六位で動物では蛇、方位では南から30度東の方角、時刻では午前10時およびその前後2時間を指す。

己の読みは、「コ」「キ」「おのれ」「つちのと」。みずから、自分等の意味がある。

回答プロセス

平成25年の干支である【巳】が年賀状にたくさん登場し、この字について知人に教えられたのを機に、自分でも興味を持っての電話による問い合わせだった。

『大宇源』『漢語林』等の漢和辞典「巳(巳・己)」の項目にそれぞれの字の説明があった。

「みはうえに...」は、故事成語辞典等を見たが載っていなかったため、インターネットで検索してみた。その結果、これは故事ではなく、3字が間違えやすいので覚えるために作られた歌のようなものとわかった。

覚えるための歌として、次のような文が見つげられた。

「巳(み)は上に、巳(すで)はなかばに、己(おのれ)は下に」

「巳(み)は上に、己(おのれ)己(つちのと)下につき、半ば開ければ巳(すで)に巳(や)む巳(のみ)」

参考資料

『大宇源』 角川書店 1992年

『漢語林』 大修館書店 1987年

『四字熟語歴史漫筆』 川越泰博／著 大修館書店 2002年



昭和30年代の、肺結核の「三者併用の薬」と言えば、「ストマイ」と「イナ」と、もうひとつが何だったかを調べたい。



『サナトリウム残影 結核の百年と日本人』p95と『結核の歴史』p37にある記述を総合すると、質問者の言う「ストマイ」は「ストレプトマイシン (SM)」、「イナ」は「イソニコチン酸ヒドラジッド (INH)」となり、もうひとつの薬品名は、「パス (PAS)」だとわかった。

結核は、日本において昭和10年に死亡原因で首位となり、戦後昭和25年まで続いた。翌年新しい結核予防法が施行された後、治療に薬が用いられるようになったようである。

回答プロセス

医学（内科学、公衆衛生）の書架にある結核の資料を探したが、「ストマイ」「イナ」を含む三種の薬品表記が見つからない。そこで、インターネットで検索すると、「ストマイ アイナ パス」という表記があるのを見つけた。

この薬品名をヒントに、改めて結核の資料を見てみると、『サナトリウム残影 結核の百年と日本人』p95に「昭和二十年後半にストレプトマイシン、パス、イソニコチン酸ヒドラジッド、そして昭和四十年代にリファンピシンが登場するに及んで、死病結核は、急速に治る病気になっていった。」という記述があった。

また、『結核の歴史』p37には「ストレプトマイシン (SM) は、ウクライナからアメリカに移ったワックスマンによって一九四四年（昭和一九年）に発見された。結核に本当に有効な初めての薬である。同じ頃（一九四六年）、ずっと以前に合成されていた化合物であるパス (PAS) が結核の治療に有効であることがスウェーデンのレーマンにより明らかにされ発表された。... (中略) ...一九五二年（昭和二七年）から使えるようになったヒドラジッド (INH) は SM、PAS に較べれば一段と強力な薬で、一九五五年頃には画期的な結核化学療法といえる SM、INH、PAS の「三剤併用療法」が完成した。」との記述があった。

参考資料

『サナトリウム残影 結核の百年と日本人』 高山啓輔／著 日本評論社 2004年

『結核の歴史』 青木正和／著 講談社 2003年



遷宮や皇室行事では、装束の色だけでその人の身分や位がわかると聞いたので、その関係について調べてみたい。

たぶん、「八色姓（ヤクサノカバネ）」に定められていると思うのだが…。



まず、装束の色と身分・位については、「八色姓」ではなく、「冠位十二階」から「養老律」までの、数回にわたる修正を経た「衣服令」に定められていることがわかった。

それは、『歴史学事典 第3巻 かたちとしるし』p56の「色は律令国家体制の一環である位階制・身分制にも用いられた。－（中略）－養老衣服令の服飾は、上位から白・黄丹・紫

・
すはう あけ くれのあみ きつろはび そび えびぞめ みどり こん はなだ くほぞめ きぞめ すりぞめころも はりぞめ しぼぞめ つるばみ
 蘇芳・緋・紅・黄椽・燠・葡萄・緑・紺・縹・桑・黄・揩衣・秦・柴・椽
すみぞめ
 墨

となっている。白は天皇、黄丹は皇太子であり、－（中略）－禁色とって、上位の位色を使用することは禁じられたのだった。」と、同資料 p625 の「服色」の項で確認できる。

さらにより基本となる資料を求めるならば、養老の衣服令は『日本思想体系 3 律令』p351 に、そして、その養老律令の注釈書「りょうのきげ令義解」における「衣服令」は『古代染色二千年の謎と秘訣』p126 に記載がある。また、『日本の色辞典』p282 には「位と色について」の項、『日本色彩文化史』p129 と p292 には、飛鳥・奈良時代と平安時代それぞれにおける「官位と色彩」「女官の位色」の項があり、この資料の巻頭には生地による色見本もついている。

回答プロセス

「八色姓」を『国史大辞典』でひくと、「天武天皇 13 年（684）に定められた真人（まひと）・朝臣（あそん）・宿禰（すくね）・忌寸（いみき）・道師（みちのし）・臣（おみ）・連（むらじ）・稻置（いなぎ）の八種のカバネ（姓）のこと。」とあり、『日本大百科全書』も『日本国語大辞典』もほぼ同様で、色には触れない記載である。ここで、同国語辞典で「色」には「種類」の意味があることを確認した。念のため、デザイン（色彩、配色）関連の資料からも『八色姓』を探したがみつけれず、質問者への調査は終了した。その後、歴史分野の棚で目に留まった『歴史学事典 総索引』に「色（日本の）」の項目をみつけ、回答となる記載にたどりついた。

参考資料

『歴史学事典 第3巻 かたちとしるし』 弘文堂 1995年

『日本思想大系 3 律令』 岩波書店 1976年

『古代染色二千年の謎と秘訣』 山崎青樹／著 美術出版社 2001年

『日本色彩文化史』 前田千寸／著 岩波書店 1983年

『日本の色辞典』 吉岡幸雄／著 紫紅社 2000年



以前、いろいろなストレスをランキングした表を見たことがある。
1位は「配偶者の死」とあったが、その表をもう一度見たい。



下記3冊の、記載ページを提供した。

『ストレスマネジメント入門』p29の図表4「「ライフイベントにおけるストレスの度合い」
(出所) ホームズ&レイ社会的適応評価尺度」

『ストレス危機の予防医学』p74の「表Ⅱ・I 社会的再適応評価尺度」

『ストレス科学事典』p426の「社会再適応評価尺度」の項目。

ちなみに、「1位 配偶者の死、2位 離婚、3位 夫婦別居、4位 拘留、5位 親族の死」
となっている。

回答プロセス

まずインターネットで検索してみると、1968年にアメリカの精神科医 Thomas Holmes と Richard Rahe が発表した「Holmes and Rahe stress scale」に基づく「生活とストレス」(ライフイベント)という表をみつけた。1位は質問者の記憶どおり「配偶者の死」なので、この表の載った資料を探してみる。また、表と共に目にした「ストレス強度」「ストレス・マネジメント」というキーワードでの所蔵検索や、医学関係の書架から直接、記載の可能性が高そうな『ストレス科学事典』『ライフ・イベントの社会学』『ストレス百科事典』『大日本百科全書』『医療心理学を学ぶ人のために』『精神・心理症状学ハンドブック』等を手にとって確認するも、みつからない。

さらに、調査範囲を広げ、『ストレスマネジメント入門』p29と『ストレス危機の予防医学』p74に、その表をみつけた。

この段階で、ランキングのおおよその名称もわかったので、改めて『ストレス科学事典』をひいてみると、上記の表と共に、解説も載っていた。

参考資料

- 『ストレスマネジメント入門』 島悟／著 日本経済新聞出版社 2007年
『ストレス危機の予防医学』 森本兼曩／著 日本放送出版協会 1997年
『ストレス科学事典』 日本ストレス学会／監修 実務教育出版 2011年



昭和12年頃、朝日新聞社で宣伝のため、飛行機「^{かみかぜごう}神風号」を使って世界一周飛行を成し遂げたと聞いた。

- ・ 東京をいつ出発し、いつ帰還したか
- ・ 寄港したのはどこか
- ・ 仙台霞ノ目飛行場に、祝賀飛行で飛来したのはいつか



昭和12年（1937）4月6日、東京の立川飛行場を出発、途中、台北・ハノイ・カルクタ・ジョドプール・カラチ・バスラ・バクダッド・アテネ・ローマ・パリを經由し、9日午後3時30分（日本時間10日午前零時30分）、ロンドンのクロイドン飛行場に到着した。東京～ロンドン間15000^{キロ}を94時間18分余り（飛行時間51時間20分、平均時速約300^{キロ}）で結び、当時の国際新記録を樹立して日本の航空技術を世界に印象づけた。英国国王の戴冠式を慶祝して朝日新聞社が企画した訪英飛行であった。

仙台に來たのは7月7日という記述の本があったが、河北新報マイクロフィルムでの記事の確認はできなかった。

回答プロセス

「新聞社・新聞」「歴史」「航空」の3方向から調べてみた。

朝日新聞社主催ということで、『朝日新聞社史』や『新聞集成昭和史の証言』などの該当年度を確認すると「神風号」に関する記載があった。

その他『国史大辞典』『日本の航空100年』の資料からも確認できた。

來仙については、『宮城野』p29に「7月7日の航空ページェントに、朝日新聞社の神風号が飛んできた。」とあり、『若林の原風景探検』p44の「神風号來たる！」のコラムには、「昭和十二年、（略）飛行し、凱旋のために日本各地を訪問」とある。ネット上の『懐かしい昭和 仙台古写真館』では「昭和12年7月11日」と日にちにズレがあり、河北新聞マイクロをチェックしたが記事はみつけれず、県史・市史にも記載はなかった。

参考資料

『朝日新聞社史 大正・昭和戦前編』朝日新聞百年史編修委員会／編 朝日新聞社 1991年

『新聞集成昭和史の証言 第11巻』本邦書籍 1985年

『国史大辞典 3』国史大辞典編集委員会／編 吉川弘文館 1983年

『日本の航空100年』日本航空協会 2010年

『宮城野』地元学講座実行委員会・宮城野区役所／企画編集 新しい杜の都づくり宮城野区協議会 1995年

『若林の原風景探検』「若林の原風景探検」スタッフ／編 仙台市 2006年



一般の人ができるだけ簡単に扱える非常食にはどんなものがあるのか知りたい。



非常食を大きく分けると下記のような種類になり、製品によっては加熱式タイプのものもあるので、食材だけでなく燃料や器具も必要になってくる。

(主なタイプと食材の例)

①レトルト

白飯、おかゆ、カレー、シチュー、中華丼、牛丼、五目ごはん

②フリーズドライ

アルファ米、雑炊、親子丼、餅、乾麺、野菜、スープ、みそ汁

④缶詰

パン、乾パン、果物、豆類、魚（サバ、イワシ）、肉類（コンビーフ）、おでん、ラーメン、野菜

⑤粉末

スキムミルク、スープ、ジュース、乾燥チーズ、砂糖や塩など調味料、嗜好飲料

⑥菓子類

チョコレート、飴、ビスケット、シリアル、果物・野菜チップ、氷砂糖、ナッツ類、ゼリードリンク、ガム

⑦伝統加工食・乾物（保存食材）

車麩、高野（凍り）豆腐、梅干し、漬物、干し柿、大根、ドライフルーツ、海産物

⑧水

⑨サプリメント

回答プロセス

非常食は、災害時やアウトドアなどでよく利用される食品である。「非常食」「保存食」をキーワードに蔵書検索システムで検索した。

参考資料

『震災非常食マニュアル』 オークラ出版 2011年

『生きのびるための非常食＜最強＞ガイド』 エクスナレッジ／編 2011年

『働く人の災害食 神戸からの伝言』 奥田和子／著 編集工房ノア 2008年

『大地震対策あなたと家族を守る安全ガイド』 国崎信江／監修 法研 2012年

『乾物と保存食材事典』 星名桂治／監修 誠文堂新光社 2011年



お墓の納骨スペース「カロート」とは何語か？

A.

一般的にカタカナで表記されるため、外来語だと思われがちだが、外来語ではなく日本語で、「からひつ（屍櫃・唐櫃）」→「かろうど（唐櫃）」→カロート、と音が変わったものである。唐櫃とは、『日本国語大辞典』によると「墓石の下に設けた遺骨を納める石室」のことである。また、『日本民族大辞典』によると、「カロートという民族語彙は、持ち主が亡くなると棺として使われる、嫁入り道具の長持（ながもち）」のことを指すこともあるようだ。

回答プロセス

『日本国語大辞典 第3巻 第2版』p1156では、「かろうど【唐櫃】からひつの変化した語。『かろうど』とも。【唐櫃】に同じ。（略）墓石の下に設けた遺骨を納める石室。」とある。からひつ→かろうど→カロートに変わったのではないかな？

民族の辞典類をみると『日本民族大辞典 上』p426で「『かろーと』とは『唐櫃』が転訛した言葉であり・・・」と変わっていった経緯が確認できた。

また、『広辞苑 第6版』『日本国語大辞典 第3巻 第2版』では「カロート」はなかったが、「かろうど【唐櫃】」「からびつ・かろうと【唐櫃・屍櫃・辛櫃】」の解説が掲載されていた。

参考資料

『お墓と埋葬の手帳』 藤井正雄／監修 小学館 2002年

『広辞苑 第6版』 岩波書店 2008年

『カタカナ・外来語 略語辞典 全訂版』 自由民国社 2006年

『日本民族大辞典 上』 福田アジオ[ほか]／編 吉川弘文館 1999年

『日本国語大辞典 第3巻 第2版』 日本国語大辞典第二版編集委員会・小学館国語辞典編集部／編 小学館 2001年



「ばんきり」という言葉の意味を知りたい。



北海道の方言では「常に、いつも」等の意味があり、用例として『北海道方言辞典』p270に「お前はバンキリ負けてばかりだな」とある。

また、仙台弁では「毎回、いつも」等の意味があり、関連語に「ばんきり、ばんきり(番限り番限り)」がある。「ばんたびばんたび(番度番度)」ということもある。

データベースの「ジャパンナレッジ」(日本国語大辞典)には「毎度。いつも。」や「その度ごとに。その都度。」の意味であることが記載されており、他の地域でも使用されていることがわかった。

仙台弁の意味のもので良いということだったので、『仙台方言辞典』と『仙台の方言』を紹介した。用例として『仙台の方言』p190に「そんなにお堅くばんきりばんきりお礼なんか頂くと、何だか他人行儀でやんでござりすてば」(そんなにお義理堅くその都度その都度お礼などを頂くと、何だか他人行儀でいやですよ)がある。

回答プロセス

どこの言葉(方言)かわからないとのことであったため、インターネットで検索をしたところ、北海道の方言の意味と仙台弁の意味が確認できた。また、データベースの「ジャパンナレッジ」にも記載があった。

質問した方が仙台弁の意味が書いてある資料を希望したため、郷土資料の言語(日本語)の方言の書架を見て仙台(宮城)の方言について書いてあるものを探したが、「ばんきり」について書いてあるものは少数であった。

参考資料

『北海道方言辞典』 石垣福雄／著 北海道新聞社 1991年

『仙台方言辞典』 浅野建二／編 東京堂出版 1985年

『仙台の方言』 土井八枝／編 国書刊行会 1975年

『とうほく方言の泉 下』 小林隆ほか／著 河北新報出版センター 2013年

■オンラインデータベース:「ジャパンナレッジ」

Q.

「森のキツツキ」や「大工のキツツキ」という手遊びの歌詞が載っている本が知りたい。

A.

「森のキツツキ」については探せなかったが、『あそびうた大全集 いつでも、どこでも、誰とでも』p32に「大工のきつつきさん」があったため、紹介した。

回答プロセス

手遊びに関する本を書架から集め、また本だけでなく CD も含めて調査したところ、『あそびうた大全集』の中に「大工のきつつきさん」があることを見つけた。「森のキツツキ」についても同じ資料から検索したが、見つけることができなかった。

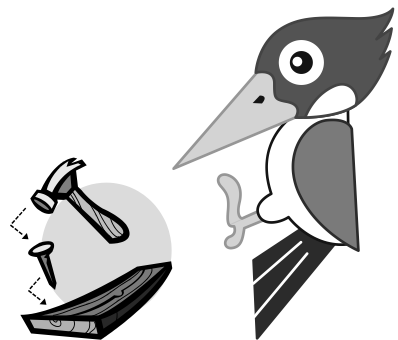
参考資料

『あそびうた大全集 いつでも、どこでも、誰とでも』

福尾野歩／作・監修 クレヨンハウス 1991年

大工のきつつきさん♪

みどりのもりかげに
ひびくうたは
だいくのキツツキさん ♪





新聞やテレビで紹介されていた浮世絵で、東京スカイツリーのようなものが描かれているものが見たい。



江戸時代後期に活躍した浮世絵師、歌川国芳^{うたがわくによし}の「東都三ツ股の図」には、東京スカイツリーのような塔が描かれている。

この図は、美術作品集『秘蔵浮世絵大観 7』にあり、カラー図版（図 179）と図版解説（p265）が載っている。他にも『名品揃物浮世絵 7 国芳・英泉』にカラー図版（図 13）、図版解説（p130）がある。

また、BS朝日ホームページ内に「時をかける浮世絵師～歌川国芳・江戸にスカイツリーを描いた男」というサイトを見つけたのであわせて紹介した。

回答プロセス

新聞やテレビで紹介されたとのことで、『河北データベース』で「浮世絵」＋「スカイツリー」で検索すると、2011年3月2日の朝刊の記事に記載があった。

写真の解説として「東京スカイツリーのような塔がそびえる『東都三ツ股の図』（歌川国芳、1831年ごろ）」とあり、浮世絵のタイトルが判明したので、『浮世絵レファレンス事典』の「歌川国芳」の項目「東都三ツ股の図」p96を確認した。

また、インターネットで検索した結果、BS朝日ホームページ内の「時をかける浮世絵師～歌川国芳・江戸にスカイツリーを描いた男」で「東都三ツ股の図」を確認した。

参考資料

『日本の浮世絵美術館 巻6』 榎崎 宗重／監修 角川書店 1996年

『浮世絵レファレンス事典』 日外アソシエーツ 2010年

『秘蔵浮世絵大観 7』 榎崎 宗重／監修 講談社 1990年

『名品揃物浮世絵 7 国芳・英泉』 榎崎 宗重／監修 ぎょうせい 1991年

- オンラインデータベース：「河北データベース」
- BS朝日ホームページ「時をかける浮世絵師～歌川国芳・江戸にスカイツリーを描いた男」2013年10月17日アクセス <http://www.bs-asahi.co.jp/ukiyo/>

Q.

近所の木が沙羅双樹だと聞いたが、写真や絵で確認したい。

A.

沙羅双樹→ナツツバキの写真は次の資料で確認した。

『葉っぱ・花・樹皮でわかる樹木図鑑』表紙と p96

『日本の野生植物 大本1』PL158 (写真ページの表示)

『春夏秋冬 京都四季めぐり』p28 「蓮華寺」

『花の旅 関西』p75 「應聖寺の沙羅」など

回答プロセス

その樹木は沙羅双樹と断言できないので、自然科学の書架にあった植物図鑑で調査を行った。まず『図説花と樹の事典』やデータベース「ジャパンナレッジ」で、沙羅双樹について調べてみると「日本の寺院でサラソウジュと称して境内に植えられている植物や、花屋でサラソウジュの名で苗木を販売し、また盆栽などに仕立てられている植物は、ツバキ科のナツツバキ（シヤラノキ）で、まったくの別種である。」とあった。近所の木ということで、「ナツツバキ」のことを指していると考えられたので「ナツツバキ」を図鑑で調べると、上記の資料に写真が載っているのを見つけた。

京都の寺院の沙羅双樹が有名だという情報を得て、日本の地理の書架にある京都の観光ガイドの中に『春夏秋冬 京都四季めぐり』p28に蓮華寺の沙羅双樹として散った花の写真が掲載されていた。さらに『花の旅 関西』p75に應聖寺の沙羅双樹のはっきりとした花の写真を確認でき、『ブッダの風景』p173に本来の沙羅双樹の木全体の写真があることを発見した。

参考資料

『葉っぱ・花・樹皮でわかる樹木図鑑』 池田書店編集部／編 池田書店 2007年

『日本の野生植物 大本1』 佐竹義輔[ほか]／編 平凡社 1999年

『図説花と樹の事典』 木村陽二郎／監修 柏書房 2005年

『花の旅 関西』 山と溪谷社 2012年

『春夏秋冬 京都四季めぐり』 小学館 2007年

『ブッダの風景』 小林正典／著 毎日新聞社 2005年

■オンラインデータベース：「ジャパンナレッジ（日本大百科全書）」



天候によって体調を崩す友人に、天候と病気の関係について教えてあげられるような本を紹介してほしい。



環境衛生に関する資料の中から、次の資料を紹介した。

『体調管理は天気予報で！！』

『健康気象学入門』

『医学気象予報』

『人はなぜ天気に左右されるのか 健康から心理・性格・体型まで、人体と天気の不思議な関係』

回答プロセス

気象に関する資料を見たが、探している内容のものがなかったので、健康と天気をキーワードに、環境衛生に関する資料を探すと次のような本があった。

『体調管理は天気予報で！！』は、気温、湿度、気圧、天候、または「季節」で注意すべき病気などに分けられている。

『健康気象学入門』には「気象と健康の関係」と季節ごとに注意する病名等が紹介されている。「秋の病気、注意報！！」p163 - p190 に喘息や秋の花粉症等をあげている。

『医学気象予報』の p66 には「モデル低気圧と病名分布」など気圧の変化や気温でわかりやすい病名をあげており、「先人の知恵に見る医学気象」p19 - p40 で世界の医療ことわざを紹介している。

『人はなぜ天気に左右されるのか 健康から心理・性格・体型まで、人体と天気の不思議な関係』には「天気は人の健康をこんなに左右する」p19 - p46 の中に「雨が降ると頭痛がするのはなぜか」「季節病はこんな季節に起こる」などの項目があった。

質問者の方には、他の関連本なども見て読みやすいものを選んでもらった。

参考資料

『体調管理は天気予報で！！』 村山貢司／著 東京堂出版 2012年

『健康気象学入門』 村山貢司／著 日東書院本社 2009年

『医学気象予報』 吉野正敏[ほか]／著 角川書店 2002年

『人はなぜ天気に左右されるのか 健康から心理・性格・体型まで、人体と天気の不思議な関係』 原田龍彦／著 河出書房新社 1999年



昭和40年頃の平均的な退職金の額を調べているが、明記している資料を見たい。



『国民生活統計年報 昭和41年版』p59には、第64表 条件別の平均モデル退職金と支給率（製造業）、第65表 東京都の中小企業モデル退職金（昭和40年）が掲載されていた。

ちなみに、第65表から大卒、勤続年数33年、会社都合（全産業）であれば、退職金の額は2,547,200円となっていた。

回答プロセス

『くらしの統計'90 国民生活統計年報』の第4章「所得と税負担」に第76表「モデル退職金（平成元年）」があった。勤続年数・学歴・会社都合／自己都合の別で掲載されている。

※ここでいう「モデル」とは、資本金5億円以上従業員1000人以上の企業で、臨時職員やパートは除くこととなっている。

この『国民生活統計年報 昭和41年版』（データは昭和40年のもの）は、宮城県図書館に所蔵があったので取り寄せし、'90と同じ統計を確認して回答とした。

参考資料

『くらしの統計'90 国民生活統計年報』 国民生活センター／編 大蔵省印刷局
1990年

『国民生活統計年報 昭和41年版』 国民生活研究所／編 至誠堂 1966年



玄米に含まれる「フィチン酸」について調べたい。
フィチン酸は玄米のどの部分に多く含まれるのか、また、一緒に食べた物のミネラルを排出する作用がフィチン酸にはあると聞いたが、本当かどうかについても知りたい。



『オックスフォード食品・栄養学辞典』p274 に「フィチン酸塩（フィチン酸）」の記述があり「穀類、特にふすまに存在し、また乾燥した豆類やある種の木の実にも存在する」とある。さらに p279 には「ふすま」の記述があり、「穀粒の外層で、製粉されるとき（すなわち小麦粉や精白米を作るとき）に大量に除去される」とある。これにより米の場合は糠の部分と解釈できる。

また、『食生活と栄養の百科事典』p515 - p516 及び『ビタミン総合事典』p521 - p522 に、カルシウムや鉄の吸収を妨げるという記述があった。この他にも『女子栄養大学紀要 26 号』に「ミネラル吸収に及ぼすフィチン酸の影響」という論文もあることをお伝えし、必要であれば取り寄せすることとした。

回答プロセス

食品・栄養学に関する資料から「玄米」「フィチン酸」に関する記述を蔵書検索システムで検索した。

また、国立国会図書館の雑誌記事検索で「フィチン酸」に関する文献がないかを検索し、該当する文献を紹介した。

参考資料

- 『オックスフォード食品・栄養学辞典』 Arnold E.Bender／著 朝倉書店 2002 年
『ビタミン総合事典』 日本ビタミン学会／編 朝倉書店 2010 年
『食生活と栄養の百科事典』 中村丁次[ほか]／編 丸善 2005 年
『女子栄養大学紀要 26 号 ミネラル吸収に及ぼすフィチン酸の影響』 吉田勉・宮沢栄次／著 1995 年



支倉常長が外国に行ったときに、白石和紙で鼻をかんだら、まわりの人たちが驚いたというエピソードを何かで読んだ。
そのときのエピソードと、白石和紙について書いてある本が見たい。
(小学生からの質問)



『ジュニア版 支倉常長』p9に「嵐のため一時寄港したフランスの港町サン・トロペでは、一行の鼻をかんでは捨てる絹のような和紙の鼻紙が現地の人々の注目の的になり、みんな先を争って拾ったというエピソードが残っています。」との記述があり、また『遙かなるロマン 支倉常長の闘い』p110にも『大日本史料』に収めてあるサン・トロペ領主夫人の報告書によると、懐紙は手のひら大で絹の布のような薄さ。フランス人には高級品に見えたらしく、鼻をかんで地に捨てると、人々は争って拾ったという。(中略)懐紙は、仙台藩でとれた白石和紙らしい。現在の宮城県南部、白石地方が産地。」との記述があった。

白石和紙については『ふるさと通信宮城にひとめぼれ』p61や『人づくり風土記4 ふるさとの人と知恵 宮城』p124 - p129などに記載があり、前書には「桑科のコウゾを原料にしている、日本でも数少ない純粋な和紙で、その技法は平安時代から、かたくなに伝えられている。」「江戸時代には伊達政宗が産業の振興策として奨励し、仙台藩の加護を受けた農民たちが、副業として生産に精を出したと伝えられている。」との記述があり、白石和紙のカラー写真も掲載されている。

回答プロセス

郷土資料で子供向けに書いてある本は多くはないが、支倉常長という人物や慶長遣欧使節について書いてある読みやすい本を探し、白石和紙については、写真やいわれが書いてある本を紹介した。

参考資料

- 『ジュニア版 支倉常長』 仙台市博物館／編 仙台市博物館 2003年
『遙かなるロマン 支倉常長の闘い』 河北新報社編集局／編 河北新報社 1993年
『ふるさと通信宮城にひとめぼれ』 エフジー武蔵 2001年
『人づくり風土記4 ふるさとの人と知恵 宮城』 農林漁村文化協会 1994年
『仙台事物起原考』 菊地勝之助／編 郵辦社 1964年 (一般書)



カタツムリの飼い方を調べているんだけど。
特に何を食べるのかについて知りたい。

(小学生からの質問)



～基本的な飼育のポイントとして～

- ・適度な大きさの水そうで飼育し、病気にならないように清潔に保つ。
- ・水そう内が乾燥しないように、1日1回、霧吹きをする（やりすぎないこと）。
- ・えさは、キャベツ、レタス、キュウリ、ニンジン、リンゴ、おち葉（かくれ家にもなる）などを与え、毎日取り換える。
- ・カルシウムをおぎなうために卵のからやイカの甲も与える（からの成長のため）。
- ・水そうの中には、アジサイなどの葉を入れ、砂をしく。
- ・卵を産んだ場合は、卵を集め、皿に盛った土の上に置き、乾かないようにコップなどをかぶせておき、ときどき霧吹きで土を湿らせる。
- ・ふ化したら、エサは柔らかい葉などを与える。

回答プロセス

身近な生き物の飼育書は、一般書よりも児童書に多くある場合も多いので、初めに児童書のコーナーを確認する。

児童書は一見簡易に記載されているが、基本的なポイントを押さえてあり、図や写真も多く取り入れられているので紹介しやすいという利点がある。

参考資料

- 『校外学習に役立つ みぢかな飼育と栽培 カタツムリ』 七尾純／著 国土社 1995年
『いきものとなかよし はじめての飼育カタツムリ』 今泉忠明／監修 金の星社 2013年
『カタツムリ 観察ブック』 小田英智・久保修一／著 偕成社 2009年
『はじめての飼育と栽培 2 かたつむり』 生活科を創る会／編 小峰書店 1993年



ペンギンって卵をうむんだって・・・その卵を原寸大の写真で見たいんだ。
(小学生からの質問)

A.

ペンギンは南極大陸などにすむ鳥の仲間で、多くの種類がいて卵もそれぞれである。ペンギンの卵は洋ナシの形をしていて、無地で白っぽい色である。

コウテイペンギンの場合、おかあさんが卵をひとつ産むと、おとうさんは卵を立ったまま何も食べずに約 50 日間あたたため、その間おかあさんはえさを取りに行くことが知られている。

質問にあるペンギンの卵（原寸大）は、次の本にあった。

『たまごのふしぎ』 p27 ケープペンギン（体長 68 ㌢）の卵の写真 約 70×48 ミリ

『卵、いろいろ -卵からかえる-』 p24 - p25

フンボルトペンギン（体長 66～72 ㌢）の卵の写真 たての長さ約 76 ミリ

『くらべる図鑑』 p29 コウテイペンギン（体長 100～130 ㌢）の卵の図（実物大）
たて約 120 ミリ

回答プロセス

児童書コーナーの「卵」を扱った本と、「ペンギン」に関する本の両方から調べた。

原寸大の写真が希望とのことなので、解説ではなく図や写真が多く載っていそうな本を中心に紹介した。

参考までに、他のペンギンの体長と卵の大きさを抜書きしてみる。

- ・オウサマペンギン 体長 85～95 ㌢ 卵 90～115×66～82 ミリ
- ・アデリーペンギン 体長 70 ㌢ 卵のたての長さ約 70 ミリ

参考資料

『たまごのふしぎ』 吉村卓三／著 オデッセウス 2000 年

『卵、いろいろ -卵からかえる-』 評論社 1994 年

『くらべる図鑑』 小学館 2009 年

『皇帝ペンギン』 ソフトバンクパブリッシング 2005 年

『世界「鳥の卵」図鑑』 マイケル・ウォルターズ／著 新樹社 2006 年（一般書）

『ペンギン・ペディア』 デイビッド・サロモン／著 河出書房新社 2013 年（一般書）



ノートのまとめ方がわかる本がないかなあ？

(小学生からの質問)



授業や宿題ですぐ実践できる、見やすいノートの書き方をマンガと実例を通して解説したものとして『子どものためのノートのコツ 1 学力アップ 番号を書く見出しをつけるほか』を、クイズやイラストを交えたものとして『ミラクルわかる！ノートの書き方&デコマスター』『勉強が楽しくなるノート術 マインドアップ FOR KIDS』を紹介。

また、疑問をもったことを調べ、理解するための指針となるものとして、『辞書引き術とノート術 学ぶ力がぐんぐん伸びる！』と『復習に役立つノート術学び力アップ道場 3』を紹介した。

回答プロセス

図書館の蔵書検索システムで検索する。キーワードを「ノート」にすると件数が多く、関係のないものも出てくるため、「ノートの」を含む書名で児童書を検索した。その結果、書名や学習指導という分類から『子どものためのノートのコツ 1 学力アップ 番号を書く見出しをつけるほか』と『ミラクルわかる！ノートの書き方&デコマスター』を選んだ。

また、「ノート術」を含む書名で児童書を再検索し、『辞書引き術とノート術 学ぶ力がぐんぐん伸びる！』『勉強が楽しくなるノート術 マインドアップ FOR KIDS』『復習に役立つノート術 学び力アップ道場 3』の情報を提供した。

参考資料

『子どものためのノートのコツ 1 学力アップ 番号を書く見出しをつけるほか 大門美子／文 汐文社 2010年

『ミラクルわかる！ノートの書き方&デコマスター』 親野智可等／監修 西東社 2012年
『勉強が楽しくなるノート術 マインドアップ FOR KIDS』 トニー・ブザン／著 ダイヤモンド社 2006年

『辞書引き術とノート術 学ぶ力がぐんぐん伸びる！』 深谷圭助／監修 フレーベル館 2010年

『復習に役立つノート術 学び力アップ道場 3』 菊池省三／監修 フレーベル館 2010年



秋の七草の種類やいわれなどを知りたい。

(小学生からの質問)

A.

「十五夜のおそなえものとしてかざる秋の7種類の草花を『秋の七草』といいます。」

ススキ 「『尾花』ともよばれ、稲穂にみたてて、豊作をいのっておそなえします。」

キキョウ 「『桔梗』という漢字から『吉更』ともよばれ、『更に吉』(ますますよいことがある)につながることから、武士にこのまれました。」

ナデシコ 「ピンクの花のすがたが『わが子をなでるようにかわいい』ことから、名前がつけられました。」

オミナエシ 「黄色の小さな花が、あわのごはん『女飯』ににていることから、名前がついたといわれています。」

クズ 「根からは和菓子の材料にもつかわれる『くず粉』がとれます。つるは長く、かごなどをあむのにつかわれます。」

フジバカマ 「花を乾燥されるとよいにおいがすることから、女性の香料としてつかわれました。」

ハギ 「奈良時代の歌集、『万葉集』でもっとも多くよまれている花で、ふるくから日本人にしたまれています。」

『伝統行事がわかる図鑑 3 秋のしきたり』 p12 より

回答プロセス

『伝統行事がわかる図鑑 3 秋のしきたり』のさくいんで秋の七草を調べると、p12 にススキ、キキョウ、ナデシコ、オミナエシ、クズ、フジバカマ、ハギの写真と解説があった。

『体験を広げるこどものずかん 7 のやまのくさき』のさくいんで秋の七草を調べる

と、p36 に七草をイラストと解説で紹介していて、「春の七草は病気にかからないようにねがって『食べる』野草ですが、秋の七草は『ながめて』楽しむ草花の代表です。」という記載があった。

参考資料

『伝統行事がわかる図鑑 3 秋のしきたり』 新谷尚紀/監修 ポプラ社 2011年

『体験を広げるこどものずかん 7 のやまのくさき』 ひかりのくに 1997年



ビスケットとクッキーの違いはあるの？

(子どもからの質問)



ビスケットとクッキーはほぼ同じもので、国によって呼び方が違うだけのようだ。イギリスではビスケット、アメリカではクッキー、フランスではサブレという呼び方をする。(『大好き♥食べ物情報図鑑 3 ケーキ・洋菓子』 p16)

ビスケットとクッキーのどちらも、小麦粉に卵・牛乳・バター・砂糖などを加え焼いた洋菓子で、ビスケットはクッキーよりバターの量が少なくややかためのをいうことが多いが、はっきりとした区別はない。(『総合百科事典ポプラディア 9』 p37 『総合百科事典ポプラディア 3』 p295)

回答プロセス

子どもからお菓子についての質問だったので、児童書の食物についてのコーナーを探した。図鑑は、図や写真で説明しているものが多くあり『大好き食べ物図鑑 3 ケーキ・洋菓子』の中に記載があったので紹介した。ビスケットは昔から、つくるのが簡単で長持ちするため、保存食として重宝されたようだ。その他にビスケット、クッキーそれぞれがどんなものかを知るために百科事典を調べた。

参考資料

『大好き♥食べ物情報図鑑 3 ケーキ・洋菓子』 浜田和子／文 高村忠範／絵 汐文社
2004年

『ビスケットのひみつ』 学習研究社 2002年

『総合百科事典ポプラディア 3 かた・き・く』 ポプラ社 2011年

『総合百科事典ポプラディア 9 ひ・ふ・へ』 ポプラ社 2011年



仙台の冬の街路樹をイルミネーションで彩る「SENDAI光のページェント」。
ページェントとはどんな意味で、どうしてその名をつけたのか。



「ページェント : Pageant とは、中世イギリスにおける宗教劇の上演形式の一種。広く野外劇や見せ物行列などをさすことがある」『日本大百科全書 21』p21 より。「祝祭日などに野外でくりひろげられる、演劇的要素を盛り込んだ、大規模な仮装行列。転じて大規模な野外の催し。野外劇」『日本国語大辞典 11』p1204 より。

光のページェントのきっかけは、『街のビッグイベントを成功させる本』の p180 に記述がある。「12 月になると葉っぱがみな落ちて寂しくなるから電気でもつけっぺや、ていうのが出たんです」。また、p193 - p194 に、イベントとしてのネーミングは、いくつかの候補の中から、ページェントは屋外劇の意味があって「光の屋外劇（光のページェント）」としたらよいのではという実行委員会での話し合いの中から生まれたとある。さらに、当時の仙台市は国際都市をめざしていたので、頭にはローマ字で SENDAI をつけようということになったとあった。

回答プロセス

まず「ページェント」という言葉の意味を調べるために百科事典等を使い、次に「SENDAI 光のページェント」についての本を検索してみると、上記の回答が得られた。

参考資料

『日本大百科全書 21』 小学館 1990 年

『日本国語大辞典 11』 小学館 2001 年

『街のビッグイベントを成功させる本』 2005 SENDAI 光のページェント実行委員会／著 中経出版 2005 年



仙山線の歴史について知りたい。



東北地方を縦貫する東北本線が開通したのち、横断する鉄道の必要性が出てきた。つまり、宮城と山形を結ぶ鉄道である。

仙山線ができるまで、仙台市と山形市の県庁所在地を結ぶルートは、笹谷峠を越える笹谷街道、山伏峠あるいは清水峠を越える二口街道、関山峠を越える関山街道（作並街道）のいずれかを、歩くか、車や馬に頼るしかなかった。両市民の30余年に及ぶ陳情の末に、1937（昭和12年）年11月10日念願の鉄軌道である仙山線は全線開通した。

仙山線には、土木工事史としても重要な仙山トンネルや第二広瀬川橋梁（熊ヶ根鉄橋）のトレスル橋梁もあり、また、日本の鉄道事業に大きな影響を与えた「交流電化試験」が1954年（昭和29年）に実施された。鉄道史には、1957年（昭和32年）9月に日本で初めての交流電化機関車が運転開始した記念すべき路線として記載されている。

（『宮城の鉄道物語』『宮城町誌 本編（改訂版）』等）

回答プロセス

はじめに、仙山線に関する資料である『全国歴史散歩宮城県』河北新報社刊行を見たい」という相談を受けたが所蔵が無く、他の資料を再度蔵書検索システムで検索したところ、鉄道関係の書架に何冊かの郷土資料を見つけた。さらに、催事案内のチラシにも記載があったので、そちらを紹介した。

参考資料

- 『各駅停車 全国歴史散歩 5 宮城県』河北新報社／編 河出書房新社 1984年
- 『仙山線物語 NO.1 仙山東線』仙山線物語編集委員会 1993年
- 『仙山線物語 NO.2 仙山西線・全線開通・交流電化』仙山線物語編集委員会 1994年
- 『仙山ハンドブック 光る個性ふれ合い磨く仙山圏』仙山圏交流研究会／編 2003年
- 『宮城町誌 本編（改訂版）』宮城町誌改訂編纂委員会 仙台市役所 1988年
- 『わたしたちの宮城町』宮城町教育委員会 1983年
- 『宮城の鉄道物語』吉岡一男／著 宝文堂 1987年



仙台藩の寺格に、一門格、御盃返上格、着座格、召出格とあるが、それぞれについてどういうものなのか教えてほしい。



仙台藩は、藩内の寺院に対して家臣団同様に格付けを行っていた。行事での席次が、宗派は別としてもほぼ寺格に対応している。年始御礼の折に、寺格に与えられた待遇も異なっていた。

1. 一門格寺院 武士の「一門並」であり、公義の御寺（仙台藩の公的な寺院）
... 仙岳院など 17ヶ寺
2. 御盃返上格寺院（御盃頂戴格）
... 松音寺など 15ヶ寺
3. 着座格寺院 広間の上段で礼を受ける寺院
... 栽松院など 34ヶ寺
4. 召出格寺院 一門衆より下位に位置する寺院
... 満福寺など 52ヶ寺

回答プロセス

それぞれの名称は家臣団の家格の名称に倣っているとの記載もあり、その詳細は『仙臺郷土研究 復刊第 15 巻第 1 号』p35 - p47、『宮城県史 12 学問宗教』p482 - p483、『仙台市史 通史編 4 近世 2』p227 - p230、『仙台市史 7 別篇 5』p198 - p199、『仙台藩歴史事典』p329 - p330 に書いてある。しかし、「御盃返上格」に関して『仙台市史』の 1975 年刊では「返盃着座格」、2003 年刊では「御盃頂戴格」と表記が異なっている。また、この 2003 年刊の『仙台市史』には「藩内の主要寺院は『十七ヶ寺』『着座の寺院』『召出の寺院』の三つに大きく分けられている。」と書いた史料があることを紹介している。

『仙臺郷土研究 復刊第 15 巻第 1 号』の「仙台藩の寺格について」の中で、「まず盃返上格の格付けは、史料 4 でも『返盃着座格寺院 號朱星着坐』と記してあること、...中略... 着座格寺院のうちの特別な寺院が後になって別に盃返上格に格付けされたのではなかろうか。」と述べている（史料 4：『奥陽名数』）。このことから「御盃返上格（頂戴格）」は着座格よりも格上で一門格に至らない寺院に与えられた格と位置づけられ、御盃頂戴格は、藩主より年始の盃のお酒を頂戴できる寺格であるとされている。このように仙台藩の寺格に関しては、史料により名称や寺院名・数が異なっていることがわかる。

参考資料

- 『仙台市史 通史編 4 近世 2』 仙台市史編さん委員会／編 仙台市 2003 年
『仙台市史 7 別篇 5』 仙台市史編纂委員会／編 萬葉堂書店 1975 年
『仙臺郷土研究 復刊第 15 巻第 1 号』 仙台郷土研究会 1990 年
『宮城県史 12 学問宗教』 宮城県／著 宮城県史刊行会 1970 年
『仙台藩歴史事典』 仙台郷土研究会／編 2012 年



前に見た本に、佐々木喜善は若いころ仙台市南町にある「芭蕉館」に宿泊したとあった。どの辺にあったのか知りたい。



佐々木喜善は1886年(明治19年)岩手県に生まれ「日本のグリム」とも言われた。1910年(明治43年)大学を休学し岩手病院に入院、その後仙台に移った。その際泊まったのが南町の「芭蕉館」という旅館だった。

大正元年発行の地図が掲載されている『仙台地図さんぽ』p42の南町通りに面した場所に「芭蕉館」がある。また、『絵図・地図でみる仙台』⑧の仙台市名家及び実業家一覧図の地図(明治34年発行)でも、その位置を確認することができる。地図裏面にある仙台市名家及実業家便覧には旅館の項目に芭蕉館の住所・経営者の名前が記載されている。『仙臺松島鹽竈 最新遊覧案内』には芭蕉館の写真が掲載されている。

回答プロセス

芭蕉館に宿泊したと記述のある資料を、佐々木喜善の伝記、民俗学の書架で探すことから始めた。『遠野物語の人 わが佐々木喜善伝』p126に「南町の芭蕉館という旅館に逗留した。」とあった。

そのころの地図で所在を確認する一方で、旅館の名簿が載っている資料を探した。『仙台商工案内 大正九年版』p102には芭蕉館の名があったが、所在地名「南町」と電話番号しか確認できなかった。江戸時代から昭和初期にかけての芭蕉の辻の変遷を紹介している資料『芭蕉の辻』p47に、芭蕉館の写真が掲載されていて、大正2年に印刷された『仙臺松島鹽竈 最新遊覧案内』より出典とあった。この資料を確認すると、後ろの広告ページの中に写真付きで芭蕉館が紹介されていた。

参考資料

『遠野物語の人 わが佐々木喜善伝』 山田野理夫／著 椿書院 1974年

『仙台地図さんぽ』 せんだい120アニバーサリー委員会 2009年

『絵図・地図で見る仙台』 高倉淳[ほか]／編著 今野印刷 1994年

『仙台商工案内 大正九年版』 仙臺商業會議所 1920年

『仙臺松島鹽竈 最新遊覧案内』 庄子正光／著 1913年

『芭蕉の辻』 仙台なつかしクラブ 2001年

Q.

政宗が58~70歳の間、常長等数名を従えて、1年おきに砂金村や秋保村でマスなどの川猟をしていた、という記述を探している。

A.

『伊達政宗 卿傳記 史料』に、下記のような記載があった。

寛永2年4月5日 「名取郡落合ニ遊ブ」(p1078)

同4年7月7日 「柴田郡砂金ニ遊ブ 七月川獵に出御之時於」(p1160)

同6年6月23日 「名取郡ニ川獵ニ赴ク 六月廿三日、秋保へ爲御川獵御出、
廿六日砂金へ御移、たらの木淵に而鱒貳百餘被爲取、…」(p1217)

同8年7月22日 「名取郡、柴田郡方面ニ川獵ニ赴ク」(p1252)

同10年7月23日 「名取郡、柴田郡、刈田郡ニ遊ビ、八月十四日歸ル」(p1285)

同12年7月19日 「名取郡秋保砂金ニ遊ブ」(p1328)

回答プロセス

秋保村ということがわかっていたので、『秋保町史』を見たところ、関係した記述があった。(本編「藩祖政宗の川猟への来駕とその御仮屋」p649 - 651)

他の資料も探してみたが、『仙台叢書1巻 伊達政宗卿年譜』には、記載がなかった。

政宗が58歳ということは、寛永元年(1624年)～寛永12年(1635年)と思われるので、日記の体裁で記されている『伊達政宗卿傳記史料』を寛永元年から順に辿っていったところ、上記のとおり記述があった。

他に、『伊達治家記録3巻』にも次のような記述があった。

寛永元年7月15日 「秋保へ御川獵として御出」(p142)

同2年4月5日 「名取郡落合方へ御鷹野に御出」(p145)

同4年7月7日 「柴田郡砂金へ御川獵に御出」(p165)

同6年6月23日 「御川獵として名取郡秋保へ御出」(p177)

これらの資料に常長等を従えたという記述は見つけられなかったが、政宗が1年おきに川猟へ出かけたということは確認できた。

参考資料

『秋保町史』 秋保町史編纂委員会 1976年

『伊達政宗卿傳記史料』 藩祖伊達政宗公顕彰会／編 1978年

『伊達治家記録3巻』 平重道／責任編集 宝文堂 1973年

Q.

郡山合戦の際の郡山城は、これまで茶臼館ちやうすだてのことだと言われてきたが、最近、稲荷館いなりだてという説もある。伊達家の資料で確認したい。伊達側のいう郡山城はどちらのことか。

A.

郡山合戦は、天正16年6月13日から始まり、同年7月21日和解した伊達軍（政宗）と蘆名・相馬軍との戦である。『伊達治家記録 1』p420に郡山合戦の記述があり、頭注に「郡山城は現在の郡山市桃見台にあった。郡山氏の居館で伊達領の最南端の城である」とある。

『伊達治家記録』では現在の桃見台となっているが、茶臼館と稲荷館とを隔てる夜討川は現在の地図では見当たらないため、どちらを指しているのか決定づけられない。伊達の資料にはどちらの言葉も記述がなく、伊達側からは「茶臼館」とも「稲荷館」ともいわず、「郡山城」としていたようである。

回答プロセス

質問者は郡山市から来館され、『郡山市史』『伊達政宗の研究』はすでにご覧になっていて、これらの資料は郡山側からの見解であるが、伊達側から見るとどうなのか、という質問だった。まず、郡山城のことを書いている資料を探し、茶臼館、稲荷館の場所を特定することにした。『伊藤肥前重信と郡山合戦』に「郡山合戦（窪田合戦）想定図」があったが、郡山城が現在のどこにあたるのか確認できなかった。『伊達政宗の研究』p64-p73に「郡山合戦」の項、『仙台叢書 第11巻』p70に「安積郡山対陣」の項があったが、場所が特定できる記述は見つけられなかった。『伊達治家記録 1』p420で現在の場所が桃見台と確認できた。次に桃見台が茶臼館だったのか稲荷館だったのかであるが、郡山合戦想定図では、郡山城は夜討川の西にあり、『郡山・田村の歴史』p100においては「西ノ内の幕ノ内（夜討川の西側）と、駅前陣屋（夜討川より東の街道寄り）とする説がある。……駅前陣屋の稲荷館とするのが妥当である。」とあることから、夜討川の西側が茶臼館と推察できる。これらの資料に加え、『会津・仙道・海道地方諸城の研究』p189、『梁川町史』p504、『伊達政宗の戦闘部隊』p135の郡山合戦の項も調べてみた。

これらの資料を総合すると、郡山城はどちらの説も存在する。しかし、伊達家の資料からは、茶臼館、稲荷館のどちらのことばも見当たらず、『戦国史料叢書』の『伊達天正日記』p274で該当日の日記をたどってみたが、「郡山城」の言葉のみであった。

参考資料

『伊達治家記録 第1巻』 平重道／責任編集 宝文堂 1972年

『伊達政宗の研究』 小林清治／著 吉川弘文館 2008年

『伊藤肥前重信と郡山合戦』 古河芳一／編 富久山町郷土史研究会 1985年

『仙台叢書 第11巻』 宝文堂 1972年 ほか

Q.

今の若林区大和町は、昔どういう所だったのか？

A.

かつて大和町は、古くから歌枕でも著名な「宮城野」の地で、広い野原であった。町の周囲には、弥生時代以来の南小泉の大集落跡や法領塚古墳・志波遺跡・陸奥国分尼寺・谷地館跡などがあるが、現在の大和町の地域内には特記するようなものはみつけれない。

藩政時代は仙台北下に接する村の一部であったため、地図では詳しいことを確認できなかった。明治 38 年頃の地図『地図で見る仙台の変遷』で、現在の大和町一帯は田園だったことがわかる。昭和 39 年頃から住宅ができ始め、区画整理も進んでいった。昭和 48 年には大和小学校が設立され、昭和 50 年 5 月 1 日、現在の大和町 1~5 丁目という地名がついた。昭和 60 年代に入ると幹線道路沿いには多くの大規模マンションが建設されていった。

(『絵図・地図で見る仙台』『仙台市史 通史編 9』『角川日本地名大辞典 4 宮城県』)

回答プロセス

『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』で「大和町」をみると、現在の大和町 1~5 丁目はかつては「小泉村」「南目村」の一部であったことがわかった。また、『仙台市史』『宮城郡誌 全』等を確認してみたが、現在の大和町にあたる地域に関する記述をみつけることはできなかった。さらに『絵図・地図で見る仙台』『地図で見る仙台の変遷 (地図 5 枚)』等、古地図類で確認すると、江戸時代の絵図では仙台北下に隣接する村であったため載っていないが、明治 38 年の地図には畑及び田の地図記号で確認できる。昭和 39 年頃からは「大和町」の名が見られ、住宅地・工場・田などが確認できた。また、『若林区地名考 [1]』では大和小学校の紹介等を、『仙台市宮城野区・若林区文化財分布地図』で、遺跡の有無等を確認した。

参考資料

『絵図・地図で見る仙台』 高倉淳[ほか]／編著 今野印刷 1994 年

『地図で見る仙台の変遷 (地図 5 枚)』 日本地図センター 1998 年

『仙台市史 通史編 9』 仙台市史編さん委員会／編 仙台市 2013 年

『角川日本地名大辞典 4 宮城県』 「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編
角川書店 1979 年

『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』 平凡社 1987 年

『若林区地名考 [1]』 若林区民ふるさと創生事業実行委員会 1991 年

『仙台市宮城野区・若林区文化財分布地図』 仙台市教育委員会 1996 年



太白区の三神峯公園にある石碑について知りたい。



三神峯公園には、主なものとして、陸軍幼年学校、旧制第二高等学校、東北大学の寮（明善寮）の歴史をとどめる三つの碑が建っている。

仙台陸軍幼年学校は、明治 30 年に榴岡（宮城野区）に開校し、大正 13 年に一旦廃止、昭和 12 年に三神峯の地に復活したが、同 20 年第二次世界大戦の終焉により、その歴史を閉じた。その校跡として「雄大剛健」の碑が建てられた。

旧制第二高等学校は、学都仙台の象徴として明治 20 年 4 月開設。片平丁、北六番丁の学舎を経て、昭和 20 年 7 月の戦災により、三神峯の地に移転した後、同 25 年 3 月に学制改革により、東北大学に包摂された。昭和 61 年、二高創立百周年にあたり、この終焉の地に「二高尚志」の碑が建てられた。

東北大学三神峯明善寮は昭和 24 年 5 月に旧制第二高等学校明善寮の後身として発足した。現在、寮は取り壊され「散りにし花は幻かわが若き日の夢なるか」という「明善寮懐古の碑」が建てられている。

ほかに、多賀神社社有地の標識、聖徳光波の碑（明治天皇行幸記念）、造林記念の碑、大正天皇（東宮時代）行啓記念の松、造林記念の碑もある。

回答プロセス

「三神峯公園」のキーワードで蔵書検索した資料には、碑文について記されていないかった。また、「石碑」「碑文」から『みやぎの文学碑』を探し当てたが、当該の石碑については記述がなく、太白区の地域で発行している『太白区の郷愁と文化』『太白の散歩手帖』を見つけた。

参考資料

『太白区の郷愁と文化』 「ディスカバーたいはく」編集会議／編 新しい杜の都づくり
太白区協議会 1999 年

『太白の散歩手帖』 木村孝文／著 宝文堂 2001 年

『新・散歩みち 宮城おさんぽガイド 88』 朝日新聞仙台総局／編 荒蝦夷 2008 年



民謡『新さんさ時雨』の譜面が載っている資料を探している。
また、この曲が誕生した背景なども併せて知りたい。



『日本民謡事典』p170 に譜面と歌詞、曲が誕生した経緯の記載がある。この資料によれば、太平洋戦争の最中だった頃、地元仙台の作詞家・刈田仁が、かねてより親交のあった NHK 仙台放送局に勤める武田忠一郎に一般の人でもすぐ歌えるような易しい曲をと作曲依頼した。しかし、当時は祝儀唄を発表するムードではなかったため、戦後数年たってから着手し、1951年（昭和26年）頃やっと出来上がった。当初は、名調の『さんさ時雨』があるのにと曲の評判は良くなかったが、10年ほど歌い続けるうちに民謡歌手の間で認知度が上がって、現在では広く知られる人気曲となった。

　　萱の根方に　そと降る雨は　音も立てねば　名も立たぬ
　　音も立てねど　萱野の雨に　思い増す穂は　色に出る　ショウガイナー

回答プロセス

民謡の書架にある民謡事典数点を確認したところ、『日本民謡事典』に譜面と誕生の経緯の記述を見つけた。

なお、『さんさ時雨』は古くから宮城県一帯（旧伊達藩六十二万石の勢力圏すべての広範囲としている資料もある）で歌われている民謡である。婚礼の祝儀唄として一同手拍子揃えて唱和する。『さんさ時雨』には、元からある『正調さんさ時雨』と同じ詞で端唄化した『お座敷さんさ』、新民謡の『新さんさ時雨』がある。

参考資料

- 『日本民謡事典』 長田暁二／編著 千藤幸蔵／編著 全音楽譜出版社 2012年
『日本童謡民謡曲集』 広島高師附属小学校音楽研究部／編 柳原書店 1978年
『日本民謡選集』 千藤幸蔵／編著 ドレミ楽譜出版社 1996年
『日本民謡全集 2』 雄山閣 1975年



以前、仙台駅東口に島崎藤村の文学碑があった。
そこには何と書いてあったのかを調べたい。「名掛丁の下宿から荒浜の波の音が聞こえた」とあった事を記憶しているのだが。



質問者が記憶していたのは、島崎藤村『市井しせいにありて』の中にある文で、看板で残っている。文中「若菜集時代」後半部分には「仙台の名掛丁というところに三浦屋という古い旅人宿と下宿を兼ねた宿がありました。・・・あの裏二階へは、遠く荒浜の方から海の鳴る音がよく聞こえて来ました。・・・」という文章があった。

この看板は、名掛丁東名会成年部が1994年、藤村の下宿先三浦屋跡地に建てたもので、現在は三浦屋跡地近くの塩竈神社（仙台市内）に場所を変えて建っている。

回答プロセス

『みやぎの杜の文学者たち』p7 下段に、「名掛丁下宿三浦屋」として「あの裏二階へは、遠く荒浜の方から 海の鳴る音がよく聞こえて来ました。」とある。出典は『市井にありて』からとあったので『藤村全集第十三巻』に収録されている「市井にありて」を確認すると「若菜集時代」の後半部分にこの文章があった。

この碑がどこにあるのか調べるため、下宿先の三浦屋が名掛丁にあったという記述から郷土資料の書架にあった『名掛丁東名会』という町内史を見ると、p27 - p29の「島崎藤村と名掛丁」（1990・5・8）の記述から、この時点ではまだ碑がないようだ。次に新聞記事で確認する。河北新報データベースで「名掛丁 藤村」で検索。1994・6・25の記事に「名掛丁に藤村の足跡 町内会青年部が看板設置」という記事があった。三浦屋があった場所の北側の市道沿いに設けられた看板には「『荒浜の海の音が部屋まで聞こえた』と、藤村の随筆の一部が引用されて書かれている。」とあり、その写真も掲載されていた。

2004年、三浦屋跡地は藤村広場として整備され、広場には「日本近代詩発祥の地」の記念碑が建てられた。2007年には藤村直筆の「草枕」の歌碑が青葉山公園から移設されている（2008・10・2の記事より）が、碑の内容から1994年の看板が質問に該当するものと思われる。この看板は仙石線地下化に伴い、以前あった場所から塩竈神社内に移設されたということの記述と写真をインターネットで確認した。

参考資料

『みやぎの杜の文学者たち』 仙台文学館／編集 仙台文学館 1999

『藤村全集 第13巻』 島崎 藤村／著 筑摩書房 1974

『名掛丁 東名会』 名掛丁東名会成年部 1991

■オンラインデータベース：河北新報データベース

Q.

仙台市宮城野区原町にある清水沼について知りたい。また、その水はどこから流れ着いているかを知りたい。

A.

『角川日本地名大辞典 4 宮城県』p288 に清水沼についての記述がある。またその基となる『宮城郡誌』p11の「原町」にも清水沼の記述があった。

『宮城郡誌』によると、近世には宮城郡小田原村に属し、「しずぬま」と呼ばれていた。伝承によれば、天正年間、伊達政宗が岩切城を攻めた時、沼の水面に軍容が勇壮に映じてみえたところから、水の清涼にちなんで命名したとある。

水の流れについては「近世にあってはこの付近から東七番丁方面にかけて各所で泉が湧き出し、深谷地や沼を形成しており」という記述があるが、それ以上のことを発見するに至らなかった。

回答プロセス

地理の書架にある、地名検索の基本図書の『角川日本地名大辞典 4 宮城県』から「清水沼」の記述を探す。その記述の出典となっている『宮城郡誌』から「清水沼」を探し回答とした。

また、『仙台地名考』p71にも「湧き出た奇麗な清水をたたえた沼であったので、後世清水沼と書き、「しずぬま」と称えるようになり、この周辺一帯の地域を清水沼と呼んでいる。」という同様の記述があった。

参考資料

『角川日本地名大辞典 4 宮城県』 「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 1979年

『宮城郡誌』 宮城郡教育会／編 名著出版 1972年

『仙台地名考』 菊地勝之助／著 宝文堂 1978年

本の道案内～図書館レファレンス事例より～

平成 26 年 3 月発行

編集 仙台市図書館

発行 仙台市民図書館

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町 2-1

せんだいメディアテーク内

電話 022-261-1585 (代)
